

クレジット:

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2016 葛西康德

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。



2016年4月13日

2016年学術俯瞰講義2回目『オデュッセイア』を読むー「ヒュブリス！どっちが？」

葛西康德（文学部西洋古典学）

第1回テーマ 『オデュッセイア』の世界：物語前半（1-12巻）

第2回テーマ 法廷弁論としての『オデュッセイア』：物語後半（13-24巻）

テキスト（翻訳）

呉茂一訳『ホメロス オデュッセイア』（上下）岩波文庫

Richmond Lattimore (tr.), *The Odyssey of Homer*, 1967

## I はじめにー ヒュブリス(Hybris)ー

- 1 アドルノ・ホルクハイマー（共著）徳永恂訳『啓蒙の弁証法ー哲学的断想』岩波文庫
- 2 アリストテレス『弁論術』第二巻第二章における定義
- 3 ホメロスにおけるヒュブリスの用例  
『イリアス』 『オデュッセウス』

## II 「オデュッセウス」の世界と『オデュッセイア』の世界ーフィクションと「現実」ー

- 1 フィンリーの「功績」  
M. I. Finley, *The World of Odysseus*, 1954 (2<sup>nd</sup> ed. Penguin 1979)  
M. I. フィンリー 下田立行訳『オデュッセウスの世界』岩波文庫 1994
- 2 イエ（オイコス）とポリス  
なぜ、求婚者たちはペーネロペイアに群がるのか？  
ペーネロペイアとテーレマコスの利害関係？  
オデュッセウスの帰還で本当に困るのは誰か？ー「失踪宣告」
- 3 ファンタジーの世界ーナウシカーとキュクロープスー

## III 法廷弁論としての『オデュッセウス』

久保正彰『オデュッセイアー伝説と叙事詩』岩波書店 1983

もし、最後の場面（オデュッセウス側と求婚者の親族の対決）を裁判で解決するとしたら、

- 1 オデュッセウス側の弁論
  - 2 求婚者（の親族）の弁論  
求婚者の亡霊アンフィメドンの主張  
オデュッセウスとペーネロペイアの企みと結託  
オデュッセウスの主張と行動（召使たちの処刑、求婚者の殲滅）
- ## IV 終わりにー「ヒュブリスーどっちが？」
- あなたはどちらに一票投じるか？